

ハヤヨミ！ 看護政策 No.497

都道府県看護協会長 様
本会職能委員 様

日本看護協会 広報部
2025年12月2日



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

周産期医療における 産科入院医療などを議論 - 中医協総会 -

◎公開可

11月19日に中医協総会が開催された。周産期医療における産科入院医療について、産科混合病棟での区域特定や、助産師による継続的ケアおよび産後ケアとの連携について議論し、異論はなかった。保険者側委員からは、助産師が妊産婦のケアに集中できるよう産科区域を特定すること、助産師が妊産婦の継続的なケア、産後ケア事業など母子保健事業との連携を円滑に行うことは重要との意見があった。また、被保険者側委員は、助産師が他の患者のケアのために妊婦のそばを離れることが常態化していることは不安であり、専門性のある助産師が産科ケアに集中できるよう院内助産やオープンシステムの推進を求めた。木澤常任理事は、産科病棟での区域特定、ゾーニングや職員の担当範囲のユニット化を推進すべきと主張した。さらに「院内助産や助産師外来、産後ケア事業などと連携し、助産師による継続的なケアが重要」と述べた。（執筆：木澤常任理事）

「ハヤヨミ！ 看護政策」は、看護政策関連の情報や本会の動きを、都道府県看護協会の皆さまと本会職能委員の皆さまにお伝えするものです。内部活用を基本としていますが、中見出しに記載している「◎」は公開可能な内容、「■」は公開をお控えいただきたい内容です。情報の取り扱いには、ご留意いただくようお願い申し上げます。

<お問合せ先> 日本看護協会 広報部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 電話：03-5778-8547 FAX：03-5778-8478

Eメール koho@nurse.or.jp ホームページ <https://www.nurse.or.jp/>